



活 動 報 告

鎌倉市庁舎 移転について（市民説明会レポート）

2月24日、鎌倉市が開催した「市庁舎移転に関する住民説明会」に参加しました。今回はその概要を簡単にまとめ、ご報告いたします。詳細は鎌倉市公式HPをご確認ください。現在の庁舎は築50年以上が経過し、耐震性の問題、老朽化、スペース不足が深刻化しています。市民の皆さんに安全で快適な行政サービスを提供するため、新庁舎の整備が議論されています。ただし、移転には賛否の声もあり、今後の方向性は慎重な検討が必要とされています。



現在の状況は？

2022年12月の市議会で、市役所を移転するための「鎌倉市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」が提出されましたが、**否決**されました。そのため、**移転はまだ決定していません**。しかし、新庁舎の基本設計はすでに進んでおり、「日建設計」と「チームラボ」が設計を担当しています。

今後の進展には、市議会の承認と市民の理解が必要です。



そもそもなぜ移転が必要なのか？

①災害に強い市役所へするため

- ・震度6クラスの地震発生後に業務を継続できる耐震性がない
- ・災害発生時に国や他自治体などの応援を受け入れるスペースがない

②老朽化対策およびスペース確保のため

- ・築50年以上が経過し、市庁舎全体が老朽化しており、市民サービスに影響がでるため。
- ・来庁者の待合スペースが狭く、通路幅なども不十分であるため。

③現在の場所での再整備が困難なため

- ・条例による高さ制限や埋蔵文化財の影響で、現在の場所での増築が難しい。

参考元：鎌倉市HP
（新庁舎について）



参考元：鎌倉市HP
（深沢のまちづくり）



栗田つねおHP
（市役所移転について）



よくある質問（Q&A）

Q. 現在の市役所の場所はどうなるの？

A. 一部の行政手続き窓口を残し、周辺の公共施設と統合して新たな市民拠点となる予定です。

Q. 移転先（深沢地区）は災害リスクがあるのでは？

A. 柏尾川の近くですが、洪水浸水区域外に位置し、2023年の最新調査でも大地震による液状化のリスクは低いとされています。

Q. 移転先の交通アクセスは大丈夫？

A. 新庁舎周辺の道路を拡張し、モノレール深沢駅や新設予定の「村岡新駅（仮称）」とのアクセス改善が計画されています。



私の考え（現時点では反対 / 条件付きの賛成）

市庁舎の移転について、**現時点では賛成することはできません**。

（あえて「反対」という強い言葉は避けていますが、議案として提出された場合は**反対の立場を取ります**）

以下の情報が明確にならない限り、賛成とは言えないと考えております。

- ・新市庁舎の建設が市民サービスの向上につながる**ことが明確であること**
- ・新庁舎周辺だけでなく、深沢地区全体の交通インフラ改善が同時に進められること（道路拡張確定、モノレール改善など）
- ・事業にかかるコスト試算がしっかり精査され、財政負担が適正であること
- ・一部の市民に負担や不利益が偏らず、広く市民の理解と納得が得られていること

どれだけ意義のある計画であっても、一部の住民の方々にご負担やご不満が生じたり、影響を受ける方々のご理解や納得が得られないままに進めることには、私は賛成しかねます。

詳しい内容は私のHPにてご紹介しています。ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。